

そこが聞きたい!!

一 般 質 問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

☑ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

将来の自治会を考えてみた

福田 正 (健政会)



録画配信の
2次元コード

①自治会役員としてのボランティア活動は、職員個々の自発的な意思によるからこそ、昇任に多大な影響を与えていいと考えるが、市の見解は。

②自治会役員などの地域活動は、市職員の業務にどのように有益に働くと考えているか。

③職員が自治会役員となることについて、地域からの要望がとても多いが、市の見解は。

総務部長 ①社会貢献活動への参画が職員の昇任に直接的に影響しないものと考えているが、その一方で、自発的な意思による地域貢献活動への参画により、その主体性や積極性が通常の業務にも好影響を与え、職員自身の人物評価につながることはあるものと認識している。

②自治会役員としての参画はもとより、自治会員として地域活動に参画することは、新たな地域社

会とのつながりの創出が期待されるものと認識しており、市民と市との協働の観点及び地域課題の把握の観点から、市職員の業務遂行上において有益に働くものと捉えている。

③自治会側から自治会役員になることへの要望の多寡は具体的に把握していないが、市職員が自治会役員になることで地域の住民と直接的な関わりを深め、より地域と行政との連携が強化されることなどを期待しているものと捉えている。



自治会はいつもフレンドリー

シティプロモーションのさらなる推進を目指して!

土方 隆司 (新政みらい)



録画配信の
2次元コード

◆「市外へのプロモーション」について

①市外へのプロモーションをどのように推進しているか。

②企業誘致に向けたプロモーションをどのように推進していくか。

企画財政部長 ①市外に住んでいる方に魅力あるまちとして認知されるよう、市の特産品やさまざまなイベント情報などを発信していく。

環境経済部長 ②狭山市の優れた立地特性や、産業用地の創出の取り組み、企業立地奨励金制度などの情報を発信するなど、さらなる企業誘致に向けたプロモーションを推進していく。

◆「市長の所信」について

シティプロモーションのさらなる推進に向け

た市長の所信は。

市長 昨年度は新聞社の調査「共働き子育てしやすい街ランキング2022」において、県内第1位に選ばれた。引き続き、若い世代が狭山市を選び住み続けてもらえるよう、コンテンツを効果的に活用しながら積極的なシティプロモーションを展開していく。



積極的な誘致活動を

無形民俗文化財の伝承/野生鳥獣(熊、たぬき、野鳥など)

町田 昌弘 (健政会)



録画配信の
2次元コード

◆無形民俗文化財の伝承のために、今なすべきこと

後世へと受け継いでいくための後継者育成についての考えは。

生涯学習部長 後継者を育成するためには、文化財に直接携わる方々だけではなく、地域と行政がそれぞれの強みを生かして連携、協力して地域全体でその保存と継承に取り組んでいくことが必要であると考えている。

狭山市の無形民俗文化財について学習する内容があり、社会科の時間に学習をしている。

また、博物館や入曽地域交流センターでは、小中学生が無形民俗文化財について学ぶ取り組みが行われている。



入曽の獅子舞

◆次世代を担う子どもたちが無形民俗文化財に触れる機会の提供を

学校での無形民俗文化財学習の取り組み状況は。

学校教育部長 市内全小学生に配布している社会科副読本「わたしたちのまちさやま4年生」では、

◆人的被害に直結する熊などの大型野生獣について、一層の注意喚起を

大型野生獣の目撃情報があった際の対応は。

環境経済部長 市民への注意喚起を図るため、市公式ホームページやSNSによる周知を行うほか、危険度が高いと見込まれる場合は、目撃された地域において防災行政無線による周知を行う。

健康づくり/私道整備

大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆劣化した私道の整備についての補助を

経年劣化による「えぐれ」や「でこぼこ」ができた私道で、夜間に足を取られて転倒する事故が起きており、現在の「私道整備要綱」では対象とならない道路が多く、また、この5年間には要綱の利用がない。必要な改修ができるよう要綱を見直しすべきではないか。

都市建設部長 私道は道路として使用する方が限定されていることから、基準を設けることは、公共性や公平性を含め慎重に検討する必要がある。

◆市制施行70周年記念行事を活用して健康増進事業を行い、特定健康診査受診率アップを

来年の市制施行70周年に際し、各種行事とタイアップして「めざせ健診70%!」のような健診率アップの取り組みができないか。

健康推進部長 市制施行70周年を健康増進活動啓発のためのよい機会と捉え、庁内関係課のほか、協定を締結している民間事業者などとも連携して、特定健康診査受診率の向上に向けた啓発活動や市民の健康意識を高めるための事業などについて、今後検討していく。

◆劣化した私道の整備についての補助を

経年劣化による「えぐれ」や「でこぼこ」ができた私道で、夜間に足を取られて転倒する事故が起きており、現在の「私道整備要綱」では対象とならない道路が多く、また、この5年間には要綱の利用がない。必要な改修ができるよう要綱を見直しすべきではないか。

都市建設部長 私道は道路として使用する方が限定されていることから、基準を設けることは、公共性や公平性を含め慎重に検討する必要がある。



市内の劣化した私道

その他のテーマ

- ▶ひとり歩き高齢者安心シール事業
- ▶後期高齢者保健事業等補助金の活用